

2001年夏の学校

平成13年(2001年)8月7日-9日に、岐阜県中津川市の東海地区国立大学共同中津川研修センターにて、愛知教育大学の星博幸さんの世話により行なわれました。研究者、院生、学部生など、合計71名が参加しました(そのうち院生と学部生は約7割を占めました)。今回は岩石磁気学、古地磁気学、環境磁気学などの研究発表に加え、IODPの紹介やIODPに向けての岩石磁気・古地磁気コミュニティの対応について議論がされました。講演総数は22件でした(そのうち院生と学部生による講演は6件)。国内における研究の発表のほか、ハワイや南極における研究の発表や一般的な(教科書的な)内容の解説などもあり、地域や内容を問わない学際的な学校でした。1日目と2日目の夜には懇親会が開かれ、自己紹介や研究室紹介に加え、研究者と学生が互いに研究に対する意見や近況を述べ合うなど、たいへん盛り上がりました。

最終日には、富山大学大学院の安江健一さんの案内により、阿寺断層系とその周辺の地形地質を対象にした巡検が開かれました。30名を超える参加者が、阿寺断層の断層露頭や断層変位地形を観察し、露頭で活発に議論しました。

ラボ・アンケート

国内の古地磁気・岩石磁気ラボの現状設備に関するアンケートを行いました。研究室の現状設備を公開し、将来国内共通の利用に供するための環境を作っていくことにご賛同いただける方々に対し、具体的な情報交換の場を作ることを目的としています。それは、日本の古地磁気・岩石磁気コミュニティとしてすでに持っているファシリティを相互に有効利用できる体制の整備をはかりつつ、不足しているものを「中核的実験室」に揃えていくことが研究体制拡充のために必要と考えられるためです。

現在28の研究室の設備と連絡先が、

http://staff.aist.go.jp/toshi-yamazaki/bunka/labs_japan/list.html

で公開されています。追加・修正はいつでも受け付けています。

メーリングリスト

古地磁気・岩石磁気研究会としては特にメーリングリストを設けていませんが、連絡等には以前より熊本大学の渋谷秀敏さんによって運用されている下記のメーリングリストを利用しています。

古地磁気・岩石磁気グループではメーリングリスト GRAPE (Geomagnetism, Rockmagnetism, and Paleomagnetism E-mailing list) を運用しております。関連する分野の基本的事項の質問から、機器の問い合わせ、専門的な議論まで、様々な話題が上っています。興味のある方は、shibuya@sci.kumamoto-u.ac.jp までお知らせ下さい。

2002年夏の学校

2002年夏の学校は、神戸大学の兵頭政幸さんのお世話で開催されます。

日程：8月3,4,5日 場所：関西地区大学セミナーハウス

詳細は、GRAPE などを通じて、お知らせする予定です。

学生の皆様の講演も大歓迎です。

古地磁気・岩石磁気研究会の設置趣旨などは、SGEPSSのホームページ(分科会活動)に掲載しています。

(1) SGEPSS内の関連研究分野間の交流を進めるとともに、地質学、地震学、惑星科学、環境科学、物性物理学、生物学など関連する学会の研究者との交流を図り、古地磁気・岩石磁気に関する研究の活性化を行う。(2) 海底・陸上掘削や惑星探査等の大型プロジェクトへ積極的に参画するための戦略的プランを検討する。(3) 学生、若手研究者の育成を図る。

世話人：井口博夫、綱川秀夫、山崎俊嗣、鳥居雅之、渋谷秀敏